

# ひろおか

vol. 170  
26.02.25

短歌のふるさと



今年もたくさんの  
笑顔をありがとう 

 広丘公民館の最新情報は  
Facebook ページをご覧ください。  
<https://fb.me/hirookakouminkan>



 広丘4分館  
Facebook ページ  
<https://fb.me/hirooka4bunkan>



戦後80年の歴史を刻み終えようとしていた昨年暮、76歳の私は相方と原爆慰霊の旅として初めて広島を訪れた。  
史上初めて落とされた一発の原子爆弾は、地上600mで爆発し、20万をこえる人々の生命を奪い、半径2kmに及ぶ市街地を廃墟に変えた。  
広島駅から路面電車に乗り20分、原爆ドーム前で下車。初めて目にしたドームの前に立ちお疲れ様と呟いた。80年間風雨に耐え、思いを宿してくれていたからだ。生け垣に囲まれたドームの中は崩れ落ちた建物のざんさがひしめいていた。  
南に進むと学徒動員され尊い命を失った約6千人を祀る慰霊塔がそびえていた。作業に打ち込んでいる様子を刻んだ彫刻に涙が流れた。  
平和記念公園は8月6日平和記念式典会場となる広場、平和記念資料館が揃う。  
館内には、原爆により瞬時に変わった状況、被爆した人々の苦しみ、焼けこけた衣類などリアルな写真が多数展示されていた。以前、松本市の音楽家狭間壮さんが歌った「一本の鉛筆」という歌が胸に浮かんだ。一本の鉛筆があれば戦争はいやだと私は書く(略) 一本の鉛筆があれば8月6日の朝と書く 一本の鉛筆があれば人間のいのちと私は書く (三澤 深)

## 老夫婦の修学旅行

# 松風



# 広がる広丘のミライ

広陵中学校出身  
松本県ケ丘高校2年

前村 陽太郎さん

消えゆく「声」を残したい—

映像クリエイターの夢



## いま向き合いたい ボクたちの未来へつなぐ 「平和」への想い

探究を実践し続ける人の育成を目標に掲げる松本県ケ丘高校。2018年の学科改編で「探究科」がスタート。以後、普通科を含めた学校全体において、探究をコアに据えたカリキュラムを進めている。前村さんは2年次から始まる個人探究のテーマに「満蒙開拓団の歴史」を選んだ。戦争や平和について考えるきっかけになったのは、塩尻市が市内の中学生を派遣する「広島平和教育研修」への参加。「それまで授業では学んできたが、被爆地での学びの機会は、とても生々しく悲惨さが伝わった。知りたいことがあったら、教科書学習を脱して、現地に足を運ぶことの大切さを身をもって感じた」と前村さん。のちに長野県には「満蒙開拓」の歴史に大きく関わった人たちが多くいたことを知り、探究の題材にした。活動を進めていくうちにさまざまな人とのつながりを得て、山形村に満蒙開拓の勤労奉仕に従事した女性が

いることを知った。もともと映像編集に興味を持っていた前村さんは、「ドキュメンタリーで伝える満蒙開拓団—戦争の記憶をカタチに」をテーマに、当時の様子をインタビュー形式で取材をし、映像に記録した。「戦争経験者にはもう時間が残っていない。いまの技術で「生の声」を記録として残さなくてはいけない」。取材の様子はメディアに取り上げられた。「自分と同じ世代の人たちに分かりやすいものにした。自分ごと」として戦争や平和について考えるきっかけを与えられる作品になれば」と意気込む。「将来は映像クリエイターとしてメディアで働きたい。いろいろなことに興味関心を持ち続け、人の心に寄り添う作品を作る人になりたい」と話した。前村さんの作品は、県高校新人放送コンテストでテレビ信州賞を受賞し、今夏の全国高校総合文化祭への出場が決まっている。

(取材・文 宮田幸恵)

## 人生に彩りを添える—



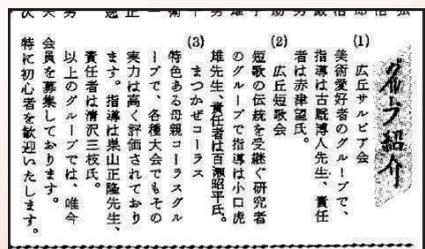
### 絵画サークル サルビア会

発足：昭和42(1967)年  
月2回／えんてらすにて

発足から約60年を迎える「サルビア会」。会員の年齢層は幅広く、油絵や水彩、アクリル、パステルなど自分の好きな画材を使い、身近な風景や草花、静物など描くテーマもさまざまです。時おりお互いに批評し合いながら絵画技術を高めている同好会です。

今号で170号となった館報ひろおかですが、55年前の復刊初号にもサルビア会の紹介記事が掲載されていました。仕事や家庭の都合で絵から遠ざかる人もいますが、メンバーが入れ替わりながらも長く続いてきた同会。会員の作品は年1回のグループ展と広丘地区文化祭にも出展し、毎年多くの来場者の目を引いています。

一緒に絵描きを楽しみたい仲間を随時募集しています。問い合わせは ☎ 090-9667-8783 児玉さんまで



## 第4回ひろおか文芸倶楽部

## 信州のカノープスを語る 11月8日(土)

講師：元信濃毎日新聞社カメラマン 丸山祥司さん  
 国立天文台 上席教授 渡部潤一さん

りゅうこつ座の1等星で、全天の中で太陽の次に明るい恒星「カノープス」。観測が非常に難しいその星を30年近く追いつけ、撮影してきた丸山祥司さんは、写真記者として信濃毎日新聞や同紙のタブロイド紙「MGプレス」で作品を掲載してきた。丸山さんがカノープスの撮影を始めたきっかけは、1997年に信毎に掲載された渡部さんのエッセーで、大町市の木崎湖に伝わる「竜伝説」を知ってから。湖面近くでの低い位置で赤く光るカノープスを、目を光らせて渡る竜に見立てたのではないかと推測。以来毎冬、撮影可能な場所と時間を探り、深い雪の中に三脚を立てて、そのチャンスを待ち続けた。6年目の冬に撮影に成功。131回目の「奇跡」だった。

一方の渡部さんも学生時代からカノープスに魅せられた一人。カノープスが見られるようにと住まいを東京・武蔵野の高台に求めたほど。カノープス観測の難しさを語り、「丸山さんのカノープス撮影への執念はすさまじい。こんなに色々な場所で撮影している人は他に見たことが無い」と渡部さん。

丸山さんは「竜伝説」がある木崎湖のほか、志賀高原や美ヶ原などで撮影を続け、2023年には「長野県で見える北限」での撮影にも成功した。「渡部先生との出会いで、大きな夢をもらい、夢中で追いつけた」と振り返った。

講演1週間前からえんてらすで「ミニ写真展」と題して、全倍サイズの大判プリントの写真を展示。講演当日は茨城県や東京都からも天体ファンが駆け付け、二人の話に熱心に耳を傾けた。



カノープスとホンシュウジカの共演  
 撮影：丸山祥司

報告 フルーツで  
 カップケーキをデコろう

12月13日(土)

広丘図書館と共催で「えんてらすのクリスマス会」を開催。第1、2部では、広丘図書館によるおはなし会やワークショップが行われました。

第3部では、小さなカップケーキにイチゴや生クリーム等を使ってサンタさんを製作しました。参加した子どもたちは、見本のサンタさんをマネして奮闘。自分なりのサンタさんを作ることができて、「楽しい」という声が聞こえました。

また、顔に生クリームを付けながら「おいしい」と笑顔を見せる子どももいて、充実した1日になりました。



## 出演・出展団体

### ○ステージ

長野県警察音楽隊 / 広丘小学校吹奏楽部・合唱部  
 広陵中学校吹奏楽部 / まつかぜコーラス  
 コーラスコスモス / 広丘太極拳自主サークル  
 都市大塩尻高校書道部 / ひだまりハーモニー  
 塩尻フォークダンスサークル「ピポット」

### ○展示

広丘小学校 / 桔梗小学校 / 広陵中学校  
 丘中学校 / ひろおかキッズ / カリヨン俳句会  
 キャンディポップ / サルビア会 / 広丘短歌会  
 塩尻短歌館協会 / 野の花会 / 無空道  
 広丘4分館

広丘小学校体育館を会場に多くの人が足を運んでくれた広丘地区文化祭音楽祭。各エリアでさまざまな催しを企画しました。

体育館前では、塩尻警察署による警察車両の展示やシニアカーの試乗会。2階ではカフェテラスや手芸ワークショップがあり、思い思いに過ごす人の姿がみられました。

展示発表ではさまざまな作品が並び、見る人を魅了していました。

ステージ発表では、日頃の練習の成果を精一杯発揮し、観覧者を巻き込んで楽しく発表する姿が多くみられました。最後は、初の試みである「シャトルラン大会」。子どもの参加が多かったですが、中には子どもが頑張る姿を見て参加したというお父さんも。子どもからの声援を受けて精一杯頑張る様子がありました。

手芸ワークショップ



桔梗小学校

広丘短歌会



丸山祥司写真展



広陵中学校

ノンアルコールカクテルの販売



広丘小学校



公民館ブース

都市大塩尻高校



ひろおかキッズ

広丘ヘルスアップ委員会



令和7年度 広丘地区

# 文化祭音楽祭

とき：11月2日（日）

場所：広丘小学校

広丘公民館の秋の一大イベントを開催しました。今年  
の来場者数は過去最多の延べ1,460人。多くの方に作品  
や音楽、さまざまな催しを楽しんでいただきました。



広丘小学校合唱部



シャトルラン大会



広丘小学校吹奏楽部



広陵中学校吹奏楽部



長野県警察音楽隊



コーラス・コスモス



塩尻フォークダンスサークル「ピボット」



まつかぜコーラス



広丘太極拳自主サークル



ひだまりハーモニー



綿あめのふるまい



この言葉きき声に出して  
精一杯の私と進んでいく  
新市大塩尻書道部

# 一 広丘の昆虫と植物 一

## その4 春の生き物

写真・文 野溝美憲さん（原新田）

早春のスプリングエフェメラルについてはその2で触れましたので、今回はそれに続いてみられる植物や昆虫を紹介します。春は黄色の花が多いのですが、あえて黄色以外の花を選びました。昆虫はまだ少ない時季になります。成虫で冬越しした昆虫が芽吹いた植物に産卵する季節でもあります。



アマドコロ



コンロンソウ



アセビ



サクラソウ



ハナズオウ



ハナイカダ



ゴウダソウ



スノードロップ



ヒメフウロ



トラフコメツキ



モモボトカミキリモドキ



ブチヒゲカメムシ



アムールシロヘリナガカメムシ



アザミウマ sp.

## 広丘輝き人 特別版〈後編〉



短歌のふるさと・広丘で、大きな功績を残した歌人がまたひとり旅立たれました。川上みよ子さん（100歳・原新田区）。川上さんに多大な影響を受けた一人である塩尻短歌館指導員の藤森円さんに、川上さんの在りし日のお姿をしのび思いを寄せていただきました。

### みよ子さんと過ごした春の一日

さようなら  
みよ子さん

原新田短歌会でのみよ子さんのご指導は、とても優しくかつ実に的確な添削をしてくださり、添削の核心部分を数多く教えていただきました。

15年ほど前だったか、息子たちが春休みだったある日、北部公園へ散歩に出かける途中で、手押しカートで帰宅途中のみよ子さんに会いました。息子たちを先に行かせて、私とみよ子さんと二人で北部公園に向かっつてゆっくり散歩をしました（ちよつとした？年の差デート）。春の暖かい日差しを浴びながら、みよ子さんから多くのお話を聞かせていただきました。みよ子さんの生い立ち、普段の生活、短歌の里のこと、作歌態度、などなど。細かいことははつきり覚えていないのですが、柔らかなお人柄が春の温もりでよりくきやかに、私の心に沁みついていた感じがしています。

みよ子さんが伝えてくださった思い。私はほれだけのちの方々に伝えることができるのだろうか。みよ子さんの温かさを心に持ちながら、歩き続けていきたいと思えます。

みよ子さんは今も、私の心の中にいます。

### みよ子さんの作品集

真紅とはこの色ならむ  
縷紅草（こうさう）の小ささが幾つも  
いくつも咲きぬ  
（2013・9）

まつ白な花びら千重万重  
にも重ねて大きな牡丹が  
咲きぬ  
（2014・6）

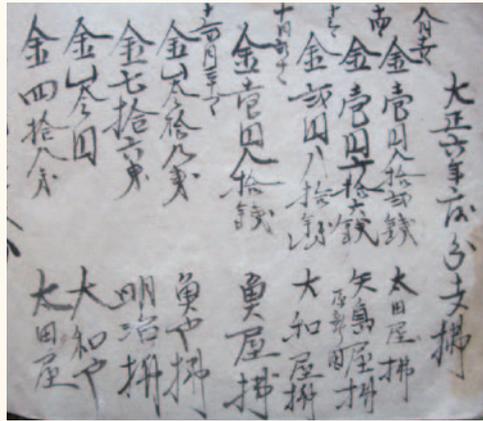
わが庭にはや五十年  
春蘭の淡き黄みどり  
ひそやかに咲く  
（2018・4）

藍色と濃き紫の朝顔が  
長月をはりを高々と澄む  
（2019・10）

福寿草・水仙・クロツカ  
ス黄に光りわが家の庭に  
も春が来ました  
（2022・4）

# ふるさと探訪

広丘村にできた商店と広丘小学校



写真は祖父の書いた「雑記帳」に書かれている「大正六年度分支部」の記録です。太田屋、大和屋、明治(亭)は野村にあった店の名前です。矢鳥屋原新田と書いています。魚屋が2か所に登場します。葛茂商店かも知れませんが、8月のお盆と暮れの12月31日にその年の大部分を支払っていることがわかります。

葛茂商店は大正3年、矢鳥屋商店は5年に原新田追分の北、善光寺街道沿いに並んで店を開きました。祖父にとつて二つの店が並ぶ原新田での買い物は初めての体験で、きつと便利さを感じたと思います。

小学校の物置にある学校資料を整理

する中で昭和10年から14年まで行われた「栄養給食」の記録がまとまって保管されていました。

10年から冬期間実施の「味噌汁給食」の記録も含まれています。弁当持参の時代でしたが、持参できない児童や

虚弱児、貧困家庭児への対策として、「栄養給食」が冬期間限定で行われました。

「栄養給食」は「身体検査票で栄養概評共に内なる児童」「貧困欠食がちな児童」に対して牛乳や握り飯を、12月から2月にかけて30日間給与するもので、「食事給与」と「牛乳給与」に分けて行われています。食事は砂糖味噌をつけた握り飯3個、牛乳は4年生以下一人一日五勺、5・6年生には一合宛て配られました。「味噌汁給食」は1月20日から2月半ばまでの20日間全校児童が対象でした。これらの事業は広丘村及び長野県からの補助金によって行なわれています。

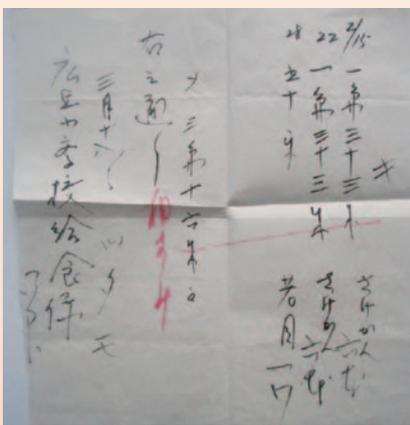
10年度の「食事給与」の対象児童は6人の日もありますが、一日5人という日が22日を数えています。「牛乳給与」は26人の日が5日間、27人の日が24日となっています。6人の日は米5合、味噌10匁、5人の日は米4合、味噌8匁の消費量でしたが、途中から「切



餅2切れ」となっています。「餅は丸山先生にお願いして搗(つ)いて貰う」という記述や味噌は「小使いから50匁買入れる」という記述もあり、米や味噌を調達するのに苦労した様子がうかがえます。

味噌汁給食は大寒から2月半ばまで行っています。大根(2〜3貫500)、わかめ(20銭)、豆腐(15から20丁)、白菜(2貫目)、油揚げ(15〜20枚)、芋がら(2把)、馬鈴薯(3〜4貫目)、さつまい(三貫目)が具として使われています。味噌は3貫600目が1回の量でしたが、薄味ということと4貫目に増量となっています。11年度には鮭かんや凍り豆腐も加わり「児童大喜びなりき」「喜びて食す」などの記述も見られます。

11年度は笹賀小俣の豆腐屋武居へ9円69銭、原新田の林林作へ大根6貫匁分3円、松本中町の斎藤へ10円14銭、葛茂商店へ3円16銭を支払っています。(太田秀保)



日誌にはさまっていた葛茂商店からの領収証

## 読者アンケート

公民館報ひろおかをご覧いただきありがとうございます。より良い公民館報作りに活かすため読者アンケートを行います。アンケートに答えてくださった方の中から抽選で松本市美術館で開催中の「サンリオ展」の招待券をペア6組にプレゼントします。

### ■応募方法

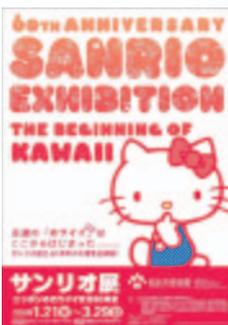
右のコード(Googleフォーム)より必要事項を入力の上ご応募ください。

### ■応募締め切り日 3月8日(日)

※プレゼントは3月13日(金)までに届くように郵送します。

※当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

Prize Campaign!



期間：3月29日(日)まで  
会場：松本市美術館2階

# この冬の推し満載 分館イベント



## 済 郷原 三九郎 1月12日(月・祝)

雪よりも風が心配でしたが、10時半前になるとまゆ玉片手に子どもや大人、大勢の人が集まりました。煙が目にしみる中、まゆ玉の花が咲きました。あれ、おもちを焼いていると思ったら芋を焼いている人がいた！



## 済 原新田 バス遠足(広丘-沼津への旅) 1月24日(土)

沼津市・若山牧水記念館・千本松原へのバス旅行。天候にも恵まれ、富士山や美しい松林を見ながらバスの中で学習会を行い、お昼は美味しい海鮮丼をいただきました。ご参加の皆様、ありがとうございました。



## 済 野村 そば打ち教室 11月15日(土)

NPO 法人信州そばアカデミー本部・道場で、そば打ち教室を開催しました。スタッフからの丁寧なサポートを受け、「練り・延ばし・たたみ・切り」の工程を楽しく体験しました。



## 済 堅石 ふれあいバス旅行ツアー 10月18日(日)

国営アルプスあづみ野公園のコスモス園散策と、ほりで一ゆー四季の郷で温泉入浴と豪華な会席料理とビンゴ大会を25名で楽しみました。



分館の活動は「4分館 Facebook」でもご覧いただけます (URL は表紙参照)

## INFORMATION <小学生向け春休みイベント>

3月27日(金) 電車の旅『映画を見に行こう♪』

30日(月) 宿題丸付け会 & 理科の実験教室

詳細や応募方法は3月初旬の地区回覧板でお知らせします

## 世帯数と人口

(令和8年2月1日現在)

区	世帯数	男	女	計
原新田	1,925	1,989	1,963	3,952
堅石	1,040	1,243	1,262	2,505
郷原	698	743	713	1,456
野村	2,848	2,909	2,671	5,580
計	6,511	6,884	6,609	13,493
塩尻市	29,423	32,448	32,370	64,818

## 編集後記

広丘公民館報がひとつの節目170号を迎えました。館報復刊時の公民館役員及び区長の皆さんの公民館発展への強い願いと期待を今一度思い返し、心新たにしています。

今年度は、広丘地区文化祭音楽祭をはじめ、多くの公民館事業がたくさんの皆さんの参加を得て活発に開催されました。

来年度も、この館報や公民館だより等を見ていただき、公民館が益々発展していきけるよう、区民の皆さんのご理解とご参加をお願いして、今年度の館報編集委員会を締めくくらせていただきます。

なお、館報で「松風」を担当していた三澤深さんが今号をもって退任されます。長きにわたってのご執筆ありがとうございました。(編集委員長 本木 英敏)